



**Q** 両組合は、互いに15年後に焼却炉を新しく造ることになるが、統合する考えはあるのか。また、市のごみ処理の一元化については、どのように考えているのか。

**A** 市長 「東金市外三市町清掃組合」のほうから、2つの組合が統合できないかという申し入れがありました。

「山武郡市環境衛生組合」では、組合議会で検討した結果、組合同士の統合はできないと「東金市外三市町清掃組合」へ回答しています。

また、市のごみ処理の一元化につきましては、「山武郡市環境衛生組合」が次の更新時に成東地域のごみも引き受けるというところで、市のごみ処理の一本化を図りたいと思います。

● 市政の7年半を振り返って

**Q** 山武市の誕生から7年半が過ぎたが、市長として、この7年半を振り返ってどう思うか。

**A** 市長 3町1村の合併から7年半、市の土台をしっかりと作るというのを第一にやってきました。

この間、東日本大震災という未曾有の災害を経験し、皆様方の御援助、御協力には感謝の念がたえません。

2期にわたります市政の中で、掲げさせていただいた約束は職員の努力もあり、おおむね結果が出ているものと思っております。

これらのことは、私の功績といったものではなく、自ら慰めることができるとするならば、旧成東病院を地方独立行政法人さんむ医療センターという1つの形にできたことがあります。また、市民自治支援課を設置し、市民の皆様がさまざまな



形でまちづくりに参加してくれるようになったことだと思えます。

**Q** 市長の任期もあと半年となったが、来年4月の市長選挙に立候補する予定はあるのか。

**A** 市長 来年の市長選挙に立候補させていただきます。

市では、平成20年を初年度とする総合計画が前期を終了し、今年度から後期に入っています。ここに掲げられました仕事を精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

● 安全で安心なまちづくりについて

**Q** 地域防災計画の現状はどうか。

**A** 総務部長 2カ年の継続事業で、今年度末に案を防災会議に諮り、改定する予定です。

**Q** 市長 公助力である行政の防災力を強化し、共助力である地区の自主防災力、自助力である個人の防災の意識を高め、市全体の地域防災力を高めていきたいと思っております。

**Q** 避難所等の要望が反映できる防災会議への女性登用についてはどうか。

**A** 総務部長 平成24年度当初は、委員24名中、女性1名でしたが、昨年12月に開催した防災会議では委員30名中、女



市川 陽子 議員

公明党 代表質問

性委員6名です。

**Q** 避難所等のリーダーの体制はどうか。

**A** 保健福祉部長 保健福祉部と教育委員会が連携し、管理職が指導に当たります。

**Q** 災害時による福祉避難所が東金市など3市3町に10カ所運営、4法人と協定と新聞報道にあるが、内容はどうか。

**A** 保健福祉部長 東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、横芝光町、芝山町との間で、8月1日付で協定を結びました。社会福祉法人ワナーホーム、医療法人清和会、社会福祉法人緑海会、社会福祉法人翡翠会、この4法人で9施設の協力を得られます。

**Q** 地域防災力向上には、防災士の役割が重要だが、市内に何名いるのか。

**A** 総務部長 成東地区7名、山武地区9名うち女性3名、蓮沼地区6名うち女性2名、松尾地区5名、計27名が認証

登録されています。また、市の職員で資格取得可能な人数は、計13名です。

**Q** 避難期間が長期にわたった場合の物資の確保に対する応援協定とその締結状況はどうか。

**A** 総務部長 平成25年8月1日現在で、締結は32件です。物資に関する協定は8件であり、このたび、岩手県大船渡市との協定も結ぶ予定です。

**Q** 大平小学校の避難所になる体育館と備蓄倉庫の位置が離れており、災害時に備蓄品を使用する際に問題があると思っております。

**A** 教育部長 学校、消防防災課と協議しています。

● 地域防犯力の向上について

**Q** 地域防犯力向上に警察OBの方の協力を得てはどうかと思うが、市内に何名いるのか。

**A** 市民部長 個人情報関係から把握できておりません。